

航空宇宙特集の発刊に際して

執行役員
防衛・宇宙セグメント長

阿部直彦
Naohiko Abe



航空宇宙特集の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は今年4月1日付で航空・防衛・宇宙ドメインを発足させ、その下に防衛・宇宙セグメントと民間機セグメント、MRJ事業部を設ける新体制をスタートさせました。

防衛・宇宙セグメントが担う防衛・宇宙事業は、政府予算によるところが大きく、事業規模は20年以上ほぼ横ばいで推移しており、事業規模拡大と脆弱な利益体質の改善が課題となっております。

こうした課題認識のもと、防衛・宇宙セグメントでは、海外展開、デュアルユース(民需事業)の展開、既存分野の拡大という3つの成長戦略を推し進めており、なかでも宇宙事業については、新興国の衛星ニーズ増加、政府による宇宙基本計画・工程表の改訂、および衛星利用ニーズの拡大に伴う打上げ市場の拡大といった市場環境を好機ととらえています。

本号では、当社が宇宙事業拡大に向けて取り組んできた4つのプロジェクトについて、これまでの研究・開発の成果や最新状況、および今後の展望を紹介します。

H3 ロケットは、H-IIA/H-IIB に代わる我が国の基幹ロケットとして、2020年度の初号機打上げに向けて当社が宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA)とともに開発に取り組んでいるものです。開発の主要な目的の一つは、価格競争力の確保によって商業衛星の打上げ受注を拡大することであり、本特集では、その開発の最新状況などを紹介します。

再使用型ロケットは、従来の宇宙輸送コストを大幅に低減するものとしてJAXAがその要素技術の実証を行っているもので、当社もこれに参画するとともに、関連する社内研究として、着陸誘導制御技術の研究を行ってきました。本特集では、それらの成果などを紹介します。

ジオスペース探査衛星「あらせ」は、地球周辺に存在する放射線帯領域(ヴァン・アレン帯)に充満している高エネルギー電子の生成過程を直接観測するためにJAXAが開発し、昨年12月に打ち上げられたもので、現在、順調に観測を行っています。本特集では、当社が開発に参画した同衛星のミッション部の概要を紹介します。

小推力スラスタは、人工衛星の姿勢制御や軌道制御に使用される小型の液体ロケットエンジンであり、当社では、次世代の商用衛星向けに、より長寿命かつ制御精度の高い小推力スラスタの開発に取り組んでいます。本特集では、その概要と開発成果、および今後の開発計画を紹介します。

本特集が、私共の活動へのご理解を深めて頂く一助となれば幸いです。今後とも、ご指導・ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。